

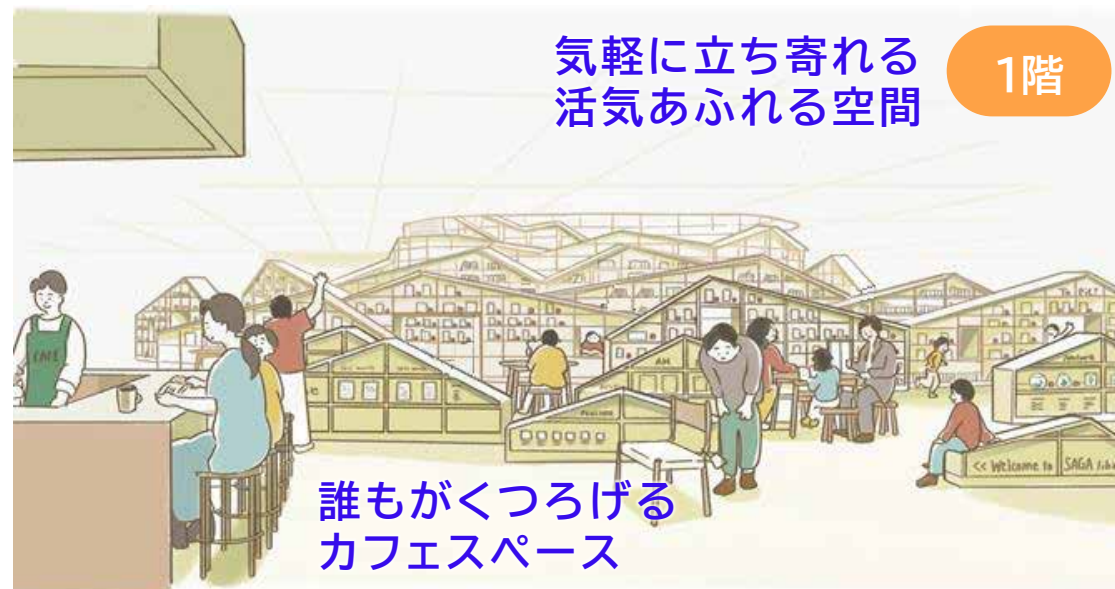
SAGA LIBRARY PARK

本を好きにさせてくれる体験にあふれた図書館を目指して
皆さんの声から生まれた夢やアイデアをカタチにしました。

6,144万円
債務負担行為(R7~R8)
1億9,838万円

図書館なのに、公園みたいに過ごせる場所へ

どん3と気軽に行き来できる
新たなエントランス



SAGA LIBRARY PARKの実施設計の予算を計上しています。

基本構想・基本計画について、これまで進めてきました。

若者、利用者の方々など、多くの市民の皆さんからアイデアをいただき、それらを踏まえて基本計画を現在作成中です。

公園のように過ごせる場所を目指していて、どん3という立地を生かし、気軽に行き来できる動線を確保する新たなエントランスが大きな特徴となっています。

誰もがくつろげるカフェスペースや、親子でのびのびと過ごせる児童コーナー、新しい体験に繋がるイベントスペースも設けることで、図書館を生まれ変わらせる取り組みを進めています。

豊かな時間を過ごせるサードプレイスへ

異なる2つの
空間をつなぐ
らせん状の階段

2階

一人ひとりが
自分だけの時間を過ごせる空間



新しい図書館の誕生に向けて、実施設計に着手します。

新しいランドマークとなるのは、らせん状の階段です。

一昨年開催した「佐賀未来発見塾」で、高校生たちが図書館に関して様々なアイデアを出してくれた際、ある高校生が「らせん階段を」と言っていたのが非常に印象的でした。

「のびのび過ごせる」や「公園みたいな図書館」といった市民の皆さんの声が、徐々に形になってきています。

2階部分は、先日、こどもたちとのこども会議でも様々な意見が報告され、「一人の時間も過ごせる場所が欲しい」という意見が多数ありました。

そこで、自分だけの時間を過ごせる場所として、2階部分を活用し、テレワークや読書など本を好きになるきっかけになればと考えています。

自宅でも職場でもない豊かな時間を過ごせる「サードプレイス」として生まれ変わる新しい図書館として、いよいよ実施設計に着手するための予算となっています。